

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- |     |                                    |
|-----|------------------------------------|
| I   | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び   |
| II  | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成           |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築        |
| IV  | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V   | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成      |

道府県・政令市名【 岩手県 】

1 実践テーマ	【 Ⅲ 】
2 実施対象者	盛岡市立上田中学校 第1学年（4クラス） 118名 特別支援学級（1～3年） 21名 計 139名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（ 保健体育 ） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	同じ学校で生活する特別支援学級の生徒と通常学級の生徒とが、パラリンピアンからの講話及び授業（体験活動）で共に学んだことをきっかけに、これまで以上に互いを理解し、交流を深めていく一助とする。
5 取組内容	〈事前学習〉 冬季休業中の課題として以下について調査した。 ①オリンピック・パラリンピックの歴史、精神 ②平昌オリンピック・パラリンピックについて ③パラリンピックの競技について 〈当日の取組〉 ①パラリンピアンからの講話 健常者から障害者となった経緯 チェアスキーに取り組み、パラリンピアンとなるまで 生きる上で夢や希望を持つことの力 ②授業 各種車いすの紹介 学級対抗車いすリレー 〈事後学習〉 学習の振り返り

<p>6 主な成果</p>	<p>○事前学習によって、オリンピック・パラリンピックの文化的意義や価値を知った上でパラリンピアンへの講義及び授業に臨んだため、より深い学びを得ることができた。</p> <p>○パラリンピックについての知識を得たことにより、平昌パラリンピックおよび東京以降のパラリンピックへの興味・関心を高めることができた。</p> <p>○パラリンピアンから「夢や希望を持つことの力」などの話を聞き、自らの弱さや甘さに気づいたり、今後の自分自身の在り方について考えるきっかけとしたりすることができた。</p> <p>○実際にチェアスキーやバスケットボール用車いすに乗ったことによって、操作だけでなく、それを使用してスポーツを行うことの難しさを体験することができた。また、車いすを使用して生活することの困難さへの理解を深めることができた。</p> <p>○リレーを同じチームで行うことにより、通常学級の生徒と特別支援学級の生徒の交流を深めることができた。</p>
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>○事前学習において、上記 5 のような内容を調査し、ある程度の知識を持った状態で実践させた。</p> <p>○通常学級と特別支援学級の生徒を同じチームにしてリレーに参加させた。</p>
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●パラリンピアン個人の生き方に共感したり、今後の夢や希望の持ち方について考えたりすることができたが、オリンピック・パラリンピックの理念に迫るという点については不十分だった。</li> <li>●一斉授業としては人数が多く、全員に体験させるための時間が不足した。</li> <li>●安全面で留意させたつもりではあったが、チェアスキーの板でケガをした生徒がいた。</li> </ul>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>○本学年は、3学年で実施する関東方面への修学旅行の中で、パラリンピアンから直接話を聞く機会を設け、さらにオリンピック・パラリンピックへの理解を深める計画である。</p>

